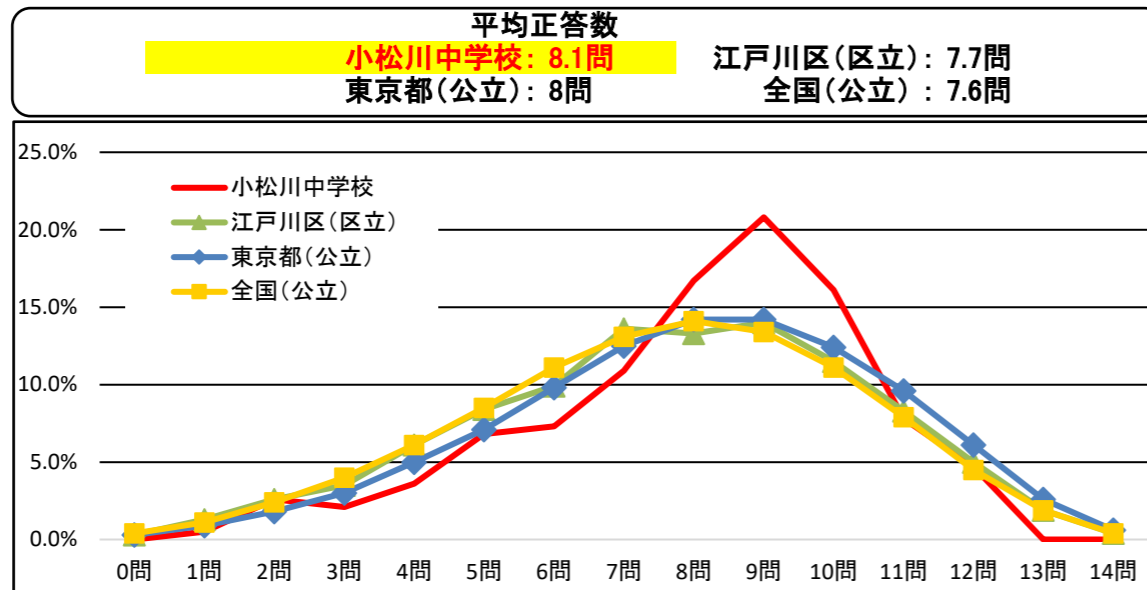


# 令和7年度全国学力・学習状況調査 結果分析表【国語】江戸川区立小松川中学校

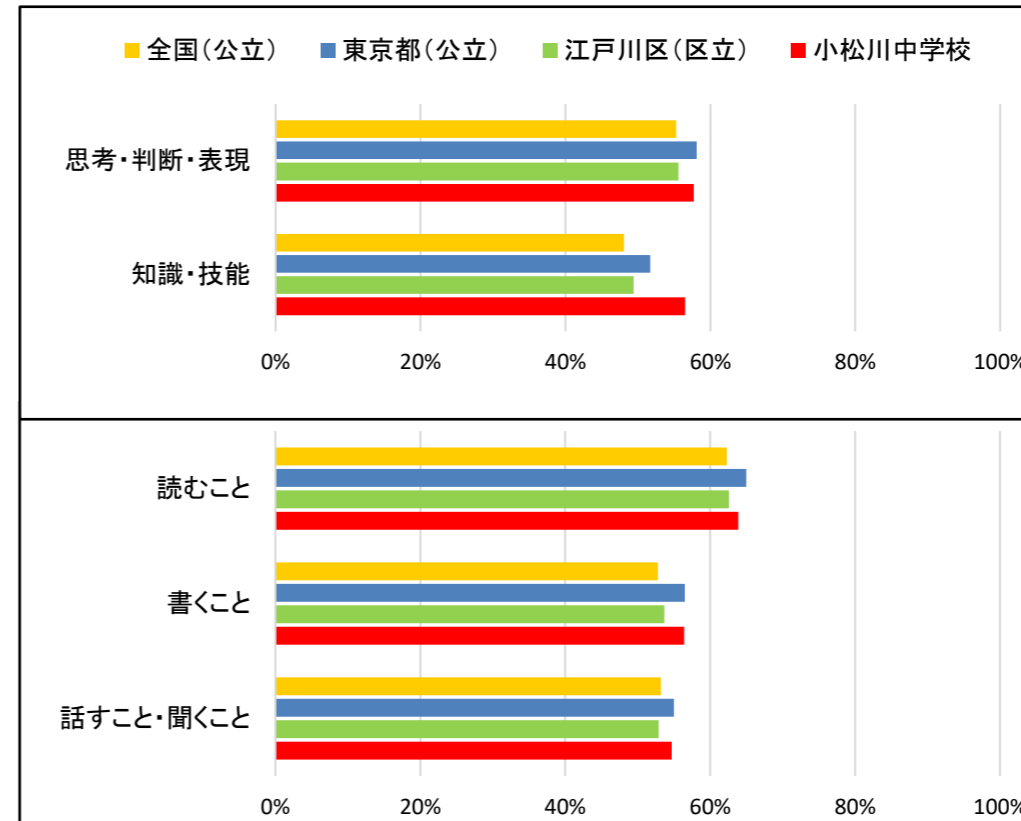
## 正答数分布



【平均正答率の差】

小松川中学校	58%
江戸川区(区立)	55%
東京都(公立)	57%
全国(公立)	54.3%
都との差(ポイント)	1.0

## 「領域別」の結果

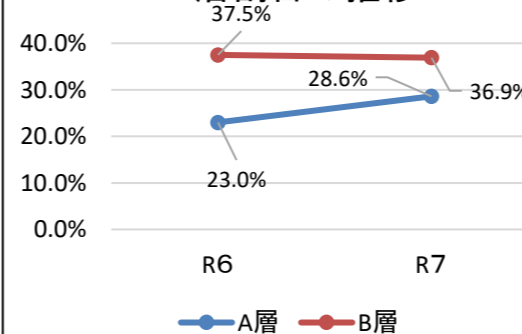


## 四分位における割合 (都全体の四分位による)

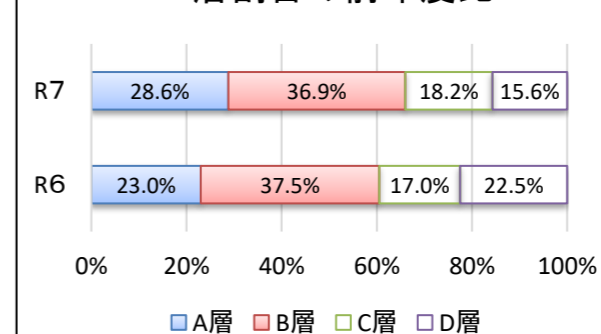
国語	上位 ← 下位			
	A層 10~14問	B層 8~9問	C層 6~7問	D層 0~5問
小松川中学校	28.6%	36.9%	18.2%	15.6%
江戸川区(区立)	27.1%	27.2%	23.5%	22.2%
東京都(公立)	31.2%	28.4%	22.3%	18.1%
全国(公立)	25.8%	27.5%	24.2%	22.5%

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

## AB層割合の推移



## AB層割合の前年度比



前年度を比較するとA層は5%増加し、D層は7%減少した。また今年度の都平均と比較するとB層が本校は多いことがわかる。領域別で見ると、都平均と比べ「書くこと」と「話すこと・聞くこと」は同じくらいであり、「読むこと」が少し都平均を下回っている。毎週金曜日の「YOMUよむワークシート」、国語での線を引ながら読む活動、短い文章を丁寧に読むテキスト活用など引き続き丁寧に取り組んでいく。